

# GIGAスクール構想のもとでの小学校音楽科の指導について

# GIGAスクール構想のもとでの小学校音楽科の指導において ICTを活用する際のポイント

## 音楽科におけるICT活用の利点

- 音楽を音声と画像との両方で確認することなどが可能であり、聴覚だけでなく視覚などを働かせながら、音楽表現を工夫したり、音楽を聴き深めたりしていくことができる。
- 自分たちの演奏を録音や録画で残すなど学習履歴を蓄積することができ、学習の振り返りや成果の確認に生かすことができる。

## 音楽科におけるICT活用の例

- ICT端末で範奏を聴きながら各パートを演奏したり、自分たちの演奏を録音・録画するなどしながら表現の仕方を工夫したりする。【表現】
- ICT端末で音のつながりを様々に試し、聴覚や視覚などから音の組合せの特徴を捉え、自らの表現に生かすようにする。【表現】
- ICT端末で自分が気になったところを何度でも繰り返し聴いたり、クラウドを活用して感じたことなどについて友達と交流したりすることで、より深く音楽のよさを感じ取ることにつながるようにする。【鑑賞】
- 学習の振り返りや成果の確認に生かすなど、学習のポートフォリオとして活用する。【表現、鑑賞】

# GIGAスクール構想のもとでの小学校音楽科の指導において ICTを活用する際のポイント

## 音楽科におけるICT活用の際の留意点

- ◆ 児童の感覚を十分に働かせたり，思考を活性化したり，工夫を促進したりすることができるよう，音楽科の学習の特質に合わせた活用を行っていくよう配慮する。
- ◆ ICT端末の操作そのものが目的化しないように留意し，授業のねらいに応じて，ICT端末の多彩な機能の中から厳選して用いるようにするとともに，活用場面を精選する。
- ◆ 児童が自分たちの演奏のよさや課題に気付くようにしたり，必要に応じて児童が自らICT機器を活用できるようにしたりするなど，主体的に学習に取り組むことができるよう指導を工夫する。

### 学習指導要領 における記述

#### 第3 指導計画の作成と内容の取扱い

2 第2の内容の取扱いについては，次の事項に配慮するものとする。

(1) 各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては，次のとおり取り扱うこと。

ウ 児童が様々な感覚を働かせて音楽への理解を深めたり，主体的に学習に取り組んだりすることができるようにするため，コンピュータや教育機器を効果的に活用できるよう指導を工夫すること。